授業概要（シラバス）

■科目基本情報　　専門学校日本ホテルスクール

科目番号	GS101	分類	講義科目
授業科目名	国際情勢1	英文授業科目名	Current Affair Ⅰ
年度	2024年度	年次	夜間部　1年　ホテル科
開講学期	前期	授業の方法	講義科目
単位数	1単位	年間授業時間数	18.2時間
科目区分	一般教育科目	授業コマ数	13コマ
担当教員名	佐藤健太郎　実務経験なし	備考	
経歴			

■授業・科目情報

学習目標	国際情勢を理解するために必要な知識は多岐にわたり、一朝一夕に獲得することは難しい。むしろ、知識を得るためのスキルを身につけること、世界情勢と日常生活が繋がっていることを感じ、日ごろから情報を得ていく態度を養うことを重視した授業展開とする。そのため、座学だけではなく、ワークショップ、ジグソー法といった参加型の手法を活用し、体験型の学びをめざし、授業内でアウトプットをする機会を設けていく。
教科書	

授業計画

回数	内容
1	オリエンテーション、講師自己紹介、ワークショップ（価値観の違いを考える）
2	ワークショップ（世界がもし100人の村だったら）
3	バーチャル海外旅行・準備編（国家、国籍、通貨、気候）
4	世界のマクドナルドから（物価、多国籍企業、食文化）
5	食料自給率とフードマイレージ（食料自給率、食料安全保障、自由貿易と保護貿易）
6	バーチャル海外旅行・プレゼンテーション編（食文化、観光地、各国事情）
7	ワークショップ（SDGsとは）
8	SDGsの考え方（ゴールとターゲット、バックキャスティング、アースオーバーシュートデー）
9	経済と環境（シェアリングエコノミー、サーキュラーエコノミー、企業の社会的責任、ESG投資）1
10	経済と環境（シェアリングエコノミー、サーキュラーエコノミー、企業の社会的責任、ESG投資）2
11	ワークショップ（国を紹介しよう1）
12	ワークショップ（国を紹介しよう2）
13	まとめ

授業の進め方	アクティブラーニング型とワークショップ型の授業を織り交ぜて実施します。アクティブラーニング：事前課題や授業で調べた内容を土台にグループで議論をすることで、様々な意見・事象を共有し、知識を増やす。ワークショップ：ケーススタディーや体験を通じて感じるだけではなく、その気づきを言葉にすることで学びを深めます。
試験の実施方法	レポートとグループワークの発表を通じて評価する。
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点＝50%（10ポイント） ②出席率　＝50%（10ポイント） 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント（合計20ポイント）に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。
関連科目	
参考書	
学生へのメッセージ	

以上